嶺南大学：スマートキャンパスのIT環境を100%可視化

主な課題

構内の分散IT環境は1万人以上のユーザーが利用しており、高い稼働率とセキュリティを維持する必要がありました。

主な成果

データ分析からセキュリティまで運用を一元化することで、インフラを100%可視化し、デジタルレジリエンスを強化しました。

業種：大学・研究機関

ソリューション：IT運用、セキュリティ

製品：Splunk Cloud、Splunk Enterprise、Splunk SOAR

デジタル時代のイノベーションを活用してスマートキャンパスを構築

1888年に創立された嶺南大学は、質の高い全人教育の実現に対するその揺るぎないコミットメントが国際的に評価されています。中国と西洋のリベラルアーツの伝統における優れた点を融合させた名門の研究大学として、スマートキャンパスの構築と革新的なテクノロジーの活用に熱心に取り組んでいます。

大学全体のITインフラの管理は、ITサービスセンター (ITSC)のインフラサービスセクション(ISS)が担当しています。16人のメンバーからなるこの強力なチームが、キャンパス内のすべての学生、教職員、管理者が利用するIT環境の高いセキュリティ、信頼性、拡張性を維持しています。しかし、オンプレミスシステム、ハイブリッドクラウド、マイクロサービスが混在するコンピューティング環境の複雑化が進み、大きな課題になっていました。

成果

向上
すべてのIT運用の効率

100%
インフラの可視性

100%
監視可能なログの種類

さらに、データ量の増加とともにサーバーファームの規模が拡大し、システム管理、ITリソース管理、ライフサイクル管理、人員確保の負担が増しました。その結果、分散IT環境の各所の監視をメンバーが個別に行うようになり、ISSチーム内の分断が進んで、複数のベンダーや管理システム間で連携して問題を解決することがほぼ不可能になりました。嶺南大学は、IT管理の一元化、自動化、効率化が必要だと判断し、その解決策としてISSチームは、Splunk Cloud、Splunk Enterprise、Splunk SOAR (Security, Orchestration, Automation, and Response)の導入を決めました。

1つの一元的なダッシュボードで1万人のユーザーをサポート

Splunkを導入したことで、嶺南大学では創立以来初めて、データを活用してすべてのITサーバーの健全性を単一の画面でリアルタイムに可視化できるようになりました。その結果、ISSチームは、複数のシステムをまたぐトラブルシューティングをワンストップで行えるようになりました。今では、1つの統合的なプラットフォームですべてのIT管理タスクを効率的に処理し、セキュリティインシデントにプロアクティブに対応して、重大な問題を未然に回避しています。

嶺南大学では、Splunk Enterpriseを使って、さまざまなシステムのコンソールを1つの運用ダッシュボードに統合し、監視を効率化しています。また、Splunk SOARを使って、アラートの監視やインシデントの調査と対応を自動化しました。さらに、リスクの重大度と業務への影響に基づいてインシデント対応の優先順位を判断できるようにしています。こうして節約できた時間を、ITSCや大学に付加価値をもたらす他のタスクに割り当てられるようになりました。

16人のチームが1つのダッシュボードを通じて大学のITインフラ全体を詳細に監視し、1万人以上の学生、教職員、管理者に、安定性、信頼性、セキュリティに優れたコンピューティングエクスペリエンスを提供できるようになったことは、計り知れない成果です。

> “Splunkのおかげで、デジタル環境のレジリエンスを維持でき、イノベーションを取り入れられるようになり、持続可能なスマートキャンパスの実現が見えてきました”
>
> 嶺南大学CIO (最高情報責任者)兼大学図書館長、**Louisa Lam氏**

デジタルレジリエンスを飛躍的に高めてクラウドの複雑さを緩和

Splunk Cloudへの移行も重要な変化をもたらしました。「Splunk Cloudは、Splunk EnterpriseにSaaSのメリットを加えたソリューションで、管理の負担を最小限に抑えてくれます」と、嶺南大学でCIO (最高情報責任者)兼大学図書館長を務めるLouisa Lam氏は評価します。「これにより、データが増加してもIT人材やキャパシティの不足を心配する必要がなくなり、オンプレミスモデルを使用していたときの懸念が解消されました」

嶺南大学は、Splunkを使って脅威ハンティングを自動化し、精度を80%以上に向上させるという成果も達成しました。ISSチームは現在、IT運用を完全に自動で可視化しています。このことが、障害の最小化、デジタル資産の保護、運用の継続性の確保、デジタルレジリエンスの強化につながっています。特にレジリエンスの強化は、スマートキャンパスを構築するうえで最重要事項です。Splunkによって過去のデータから実用的なインサイトを導出することで、システムの利用傾向を把握し、問題の根本原因分析を迅速化して、リスクとニーズを予測できるようにもなりました。今では、レポート生成と予測型アラートによってシステムの可用性を確保しながら、システムのプランニングと設定に先手で取り掛かることができます。

先進テクノロジーで持続可能な未来を創造

Splunkを活用することで、嶺南大学は優れた拡張性を手に入れて効果的なIT運用を実現し、将来の成長を見越した強固な基盤を構築しました。Lam氏はログ管理を例に挙げます。「以前の手動方式では、すべてのログを同時にチェックすることができず、オンプレミスとアラートのログを優先せざるを得ませんでした。Splunkによってプロアクティブに可視化できるようになったことで、対応できるログの種類が2倍になりました」

Splunkの導入以来、学生や教員の学習環境も改善しています。ISSチームは、Splunkチームのメンバーが顧客を第一に考え、ユースケースを積極的にレビューし、Splunkを適用できる領域について適切なアドバイスを提供している点を高く評価しています。嶺南大学は今後も、AIと機械学習を活用してSplunkプラットフォームから予測的なインサイトをさらに引き出すための探求を続けていく予定です。アジア屈指の大学として、多面的なデータ分析のニーズに応え、最先端のテクノロジーを統合することを目指す嶺南大学の今後のITロードマップにおいて、Splunkは引き続き重要な役割を果たしていくでしょう。

Splunkを無料でダウンロードするか、Splunk Cloudの無料トライアルをお試しください。Splunkは、クラウドかオンプレミスか、また組織の規模の大小などにかかわりなく、お客様のニーズに最適な展開モデルでご利用いただけます。

splunk> a CISCO company

お問い合わせはこちら：https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html

www.splunk.com/ja_jp
splunkjp@splunk.com

25_CMP_cust_Lingnan-UNiversity_v3-JA-202505